

久恒啓一(ひさつね けいいち)

多摩大学経営情報学部教授

昭和 25 年大分県生まれ 九州大学法学部卒業。昭和 48 年日本航空株式会社入社、ロンドン空港支店、客室本部労務担当等を経て、本社広報課長、サービス委員会事務局次長を歴任。ビジネスマン時代から「知的生産の技術」研究会(現在はNPO)に所属し著作活動も展開。日本航空を早期退職し、平成 9 年 4 月新設の宮城大学教授に就任。学生とともに成長する教育者、地域とともに歩む研究者、県立大学教授としての社会貢献という 3 つのテーマで活発に活動。学内では、学生部長、大学院事業構想学研究科長、学長補佐・総合情報センター長などを歴任。著作や雑誌への寄稿や講演など全国区で活躍する一方、宮城県では多数の審議会・委員会の委員などをつとめた。平成 20 年 4 月より多摩大学教授に就任。NPO 法人知的生産の技術研究会理事長。平成 16 年度より中国・吉林大学客員教授。平成 20 年度より宮城大学名誉教授。

【関心分野】

ビジネスコミュニケーション、キャリアデザイン、サービスマネジメント、図解コミュニケーション、自己表現、知的生産の技術

【行政等の委員会活動】

国土交通省「水・道路・都市の環境政策と合意形成に関する研究会」副座長、産業人材研究会(経済産業省)、宮城県行政改革推進委員会委員、宮城県民サービス向上委員会委員長、宮城県行政改革進行管理委員会委員、宮城県大規模事業評価委員会委員、宮城県長期総合計画審議会専門委員、宮城県バリアフリー国体アドバイザー、気仙沼市行政改革懇話会副会長、高清水町 21 世紀まちづくり委員会委員長、古川市農業農村対策審議会会長、大和町行財政評価システム導入委員会委員長、大崎市行政改革推進委員会会長

【主な講演会、セミナーなどの講師】

(行政)最高裁判所、東京高等裁判所、仙台高等裁判所、宇都宮地裁、人事院、防衛庁技術研究本部、文部科学省高等教育局、国土交通省東北地方整備局、東北財務局、秋田県庁、山形県庁、宮城県庁、三重県庁、高知県庁、全国市町村職員中央研修所、神奈川県市町村職員研修所、東北自治研修所、ふくしま自治研修センター、中小企業大学校、宮城県庁、宮城県市町村職員研修所、東北郵政局職員研修所、宮城県仙南保健所、新世紀・みやぎ国体県民運動協議会、仙台市役所、松島町役場、松山町役場、本吉町役場、丸森町役場、石巻市民会議、

(企業など)トヨタ自動車、日産自動車、キャノン、富士ゼロックス、リクルート、朝日新聞社、JR 東日本、マイクロソフト、松下電器、コマツ、三菱商事、慶應丸の内シティキャンパス、日経ビジネススクール、日本総合研究所、日経新聞社、企業法務研究会、エーザイ、第一製薬、山之内製薬、安田火災海上、仙台経済同友会、東北電力、七十七銀行、河北新報、鋼材倶楽部、丸善、21 世紀プラザ、大分経済同友会、日本遊技産業同友会、佐賀県商工会連合会

(教育)東北大学医学部、東北大学大学院工学研究科、筑波大学教育センター、奈良県教育センター、岡山県教育センター、群馬県教育センター、山梨県教育委員会、仙台市教育センター、花巻市校長会、宮城県向山高校、富谷高校、仙台白百合高校、八乙女小学校、矢本西小学校

【主な寄稿雑誌】

ビジネスデータ(ファシリテーションの技術)、日経ビジネス、プレジデント、週刊エコノミスト、日経ベンチャー、ビッグ・トゥモロー、The21、R25、月刊 Voice

【著書】

「図で考える人は仕事ができる」(日本経済新聞社)「図で考える人は仕事ができる 実践編」(日本経済新聞社)「合意術 「深掘り型」問題解決のすすめ」(日本経済新聞社)「図で考えれば文章がうまくなる」(PHP 研究所)「通勤電車で寝てはいけない！」(三笠書房)「できる人になるには勉強してはいけない！」(青春出版社)「図で読み解く! ドラッカー理論」(かんき出版)「見晴らしを良くすれば仕事は絶対にうまくいく！」(実業之日本社)「人生がうまくいく人は図で考える」(三笠書房)「40 歳からのライフデザイン」(講談社)「仕事力を高める方法は「図」がすべて教えてくれる！」(PHP 研究所)「仕事と人生で成功する人の図で考える習慣」(幻冬舎)「図解 世界の名著がわかる本」(三笠書房)「図解 今の日本がひと目でわかる！」(三笠書房)